

製品名: Raly ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16873**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	RALY
別名	RALY; HNRPCL2; P542; RNA-binding protein Raly; Autoantigen p542; Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein C-like 2; hnRNP core protein C-like 2; hnRNP associated with lethal yellow protein homolog
遺伝子 ID	22913.0
SwissProt ID	Q9UKM9
免疫原	抗血清はヒト RALY 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 71-120

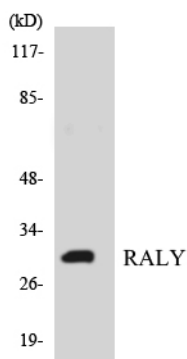
背景

この遺伝子は、異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) 遺伝子ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、pre-mRNA スプライシングおよび胚発生において役割を果たしている可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2011 年 9 月];疾患: エプスタイン・バーウイルスによって引き起こされる伝染性単核球症で発見された自己抗原。エプスタイン・バーウイルスの BKRF1 タンパク質 (EBNA-1 核タンパク質) と交差反応する B 細胞によって認識されるエピトープが同定されています。機能: おそらく RNA 結合タンパク質。異種核リボ核タンパク質 (hnRNP) である可能性があります。pre-mRNA スプライシングに関連している可能性があります。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性: RRM HNRPC ファミリーに属します。RALY サブファミリー。類似性:1 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。サブユニット:スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1 で構成される。PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、ZCCHC8。組織特異性: 心臓、脳、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓で発現。胎盤でも弱い発現。

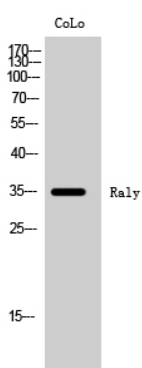
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; クロマチン結合タンパク質; DNA/RNA 結合

画像データ



RALY 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



Raly ポリクローナル抗体を使用した CoLo 細胞のウェスタン ブロット分析。

